

平成29年度

応急仮設住宅（プレハブ）入居者 健康調査報告書



目 次

(ページ)

I	調査の概要	1
II	結果の概要	
1	世帯の状況	2
2	調査対象者の属性	3
3	健診の受診状況	5
4	疾病の状況	6
5	体調	8
6	心の問題	9
7	心の動揺	10
8	不眠の状況	10
9	飲酒の状況	11
10	食欲及び体重変化の状況	12
11	相談相手の有無	13
12	体を動かす機会の変化	14
13	行事への参加状況	15
14	要介護認定の状況	16
15	障害者手帳の有無	16
16	前回に引き続き回答があった方の状況	17
17	平成29年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者 健康調査結果(市町の主な項目)	18
III	(参考)調査票様式	19

I 調査の概要

1 調査の目的

応急仮設住宅(プレハブ)での生活が長期化するに伴って、様々な健康問題の発生が懸念されることから、入居者の健康状況を把握し、要フォロー者を必要な健康支援に結びつけるとともに、施策展開の基礎資料とすることを目的として平成24年度から実施しているもの。

2 実施主体

宮城県及び応急仮設住宅(プレハブ)を管理する4市町(石巻市, 名取市, 東松島市, 南三陸町)の共同実施

3 調査対象

上記4市町が管理する応急仮設住宅(プレハブ)の入居者 1, 529世帯

4 実施時期

平成29年9月～11月

5 調査方法

- (1) 配布 市町支援員等による戸別訪問
- (2) 回収 市町支援員等による戸別訪問又は郵送

6 調査項目

- (1) 個人属性(氏名, 性別, 生年月日, 続柄, 職業)
- (2) 健康状況(身体的・心理的状況, 身体活動・社会性の状況など)

7 配布・回収状況

- (1) 配布世帯数 1, 529世帯
- (2) 回収世帯数 696世帯
- (3) 回収率 45. 5%
- (4) 有効回答人数 1, 295人

* 調査結果に掲載している数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳合計と総数とが一致しない場合がある。

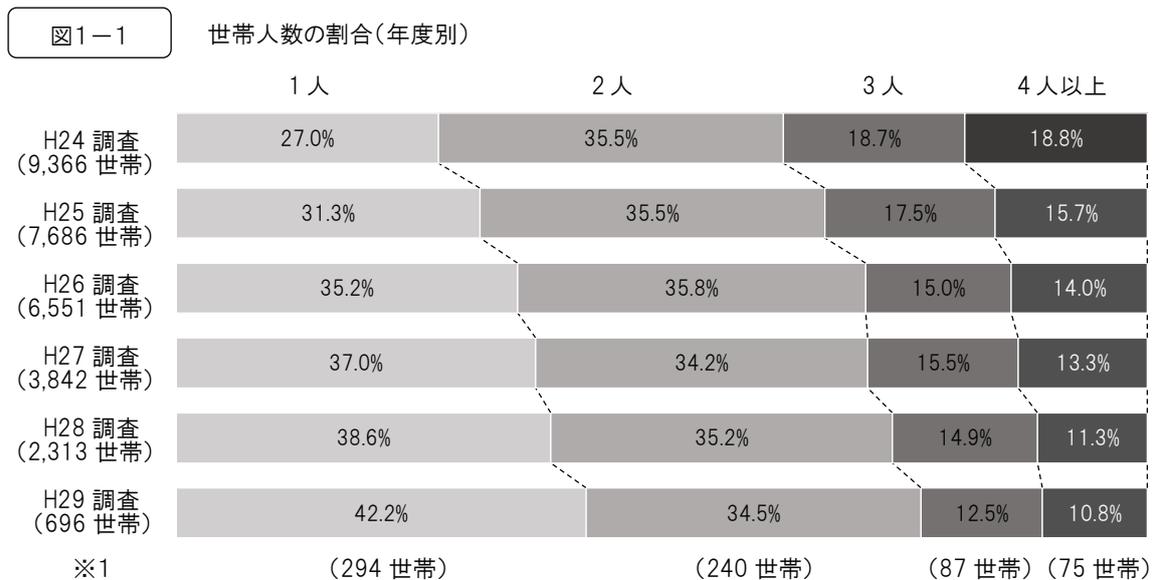
* 項目ごとに有効回答者数が異なる場合がある。また、各項目の母数(有効回答者数の計)は表中の()内に記載した。

Ⅱ 結果の概要

1 世帯の状況

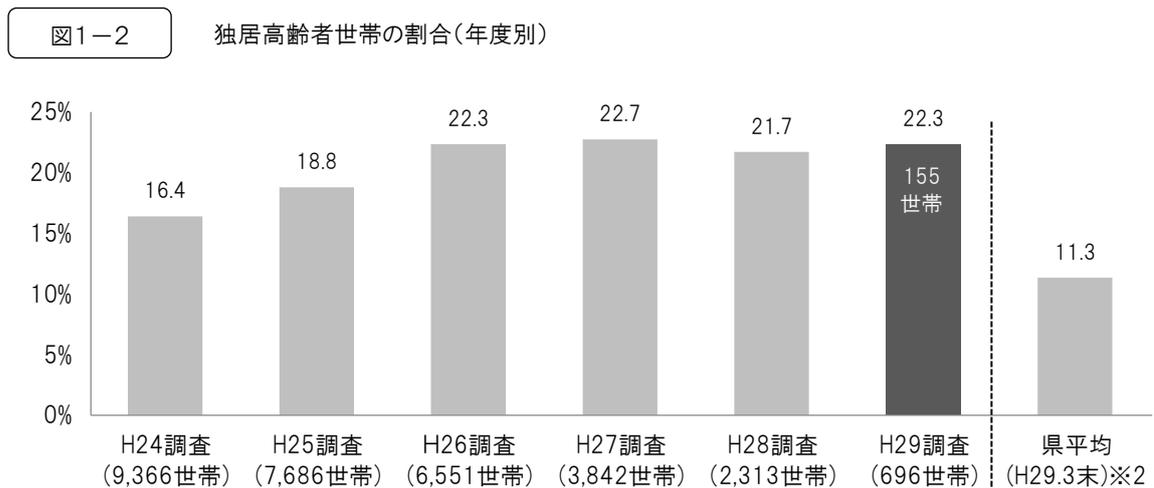
(1) 世帯人数

世帯ごとの人数は、「1人」が42.2%と最多で、次いで「2人」が34.5%となっている。



(2) 独居高齢者世帯

65歳以上でひとり暮らしの世帯は155世帯ある。全世帯に占める割合は22.3%である。



(注) 回答無記入・内容不明のデータは、除外して集計した(以下同じ)。

※1

平成24年度調査：平成24年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成24年9月～平成24年12月実施)(以下同じ)。
 平成25年度調査：平成25年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成25年9月～平成25年11月実施)(以下同じ)。
 平成26年度調査：平成26年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成26年9月～平成26年11月実施)(以下同じ)。
 平成27年度調査：平成27年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成27年9月～平成27年11月実施)(以下同じ)。
 平成28年度調査：平成28年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査(平成28年9月～平成28年11月実施)(以下同じ)。

※2 宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)及び宮城県住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)より。

2 調査対象者の属性

(1) 性別・年齢構成

年齢構成では、65歳以上の高齢者の割合は40.9%である。
 なお、県平均の高齢化率は、平成29年3月末現在で26.3%である(高齢者人口調査より)。

図2-1 65歳以上高齢者割合(年度別)

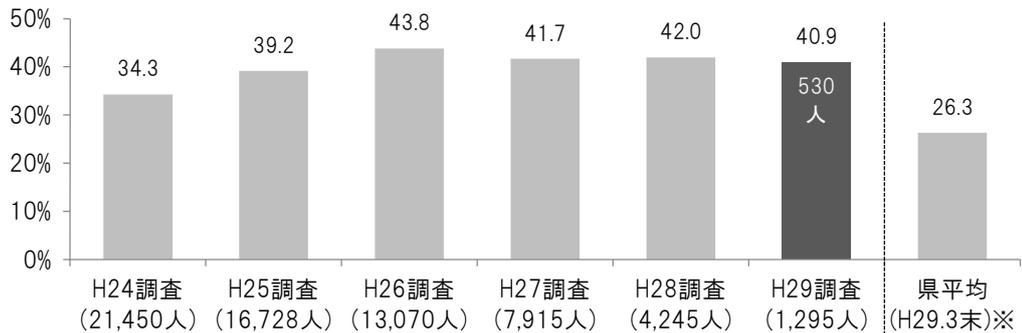
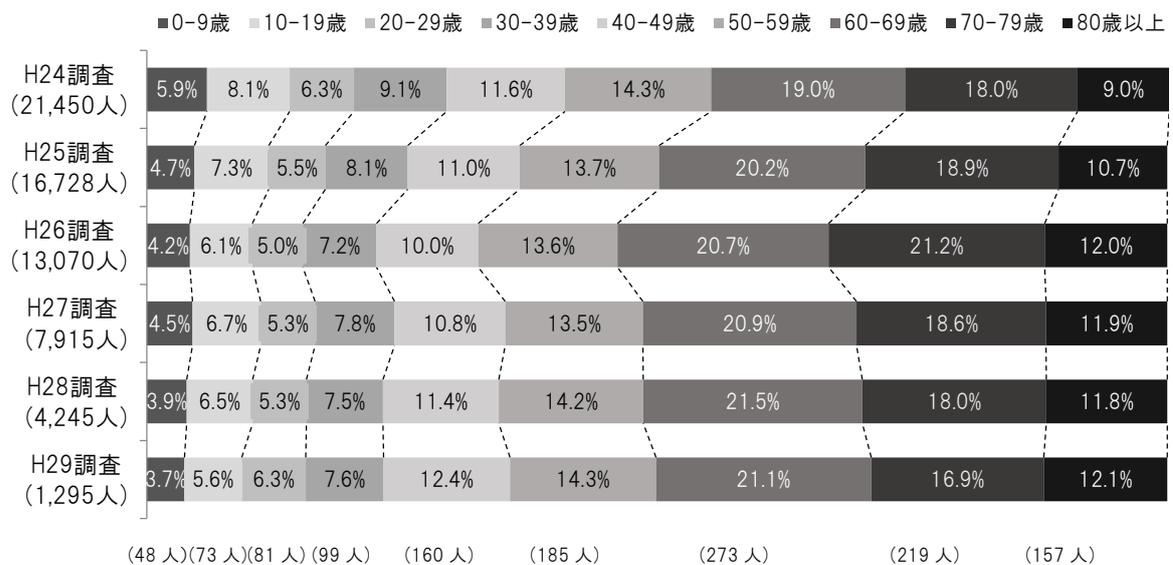


図2-2 性別の割合



図2-3 年齢構成割合(年度別)



※ 宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)及び宮城県住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)より。

2 調査対象者の属性 (つづき)

(2) 職業

職業は、「無職」が32.6%と最多で、次いで「会社員」が19.6%である。

表2-1 職業(全年齢・複数回答あり)

職業	H24調査 (20,740人)	H25調査 (16,019人)	H26調査 (12,342人)	H27調査 (7,554人)	H28調査 (3,997人)	H29調査	
	割合	割合	割合	割合	割合	人数	割合
会社員	17.2%	18.0%	16.8%	18.3%	19.3%	242	(19.6%)
公務員	1.3%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%	15	(1.2%)
自営業	5.4%	4.9%	5.2%	6.4%	6.6%	90	(7.3%)
パート・アルバイト	9.9%	10.2%	9.7%	9.9%	11.0%	137	(11.1%)
農業	1.3%	1.6%	1.1%	1.0%	0.7%	5	(0.4%)
漁業	4.4%	4.6%	4.6%	4.7%	4.0%	51	(4.1%)
主婦	12.1%	10.9%	11.9%	11.1%	13.1%	147	(11.9%)
学生	10.2%	9.1%	7.8%	8.2%	7.9%	92	(7.4%)
無職	32.7%	34.6%	36.9%	34.8%	31.8%	403	(32.6%)
その他	5.5%	5.0%	5.0%	4.6%	4.6%	55	(4.4%)
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	1,237	(100.0%)

(3) 無職の理由 (15歳から64歳まで)

「無職」と回答した人のうち、15歳から64歳までの人は112人で、そのうち、「求職中」と回答した人は27.7%、「病気療養中」と回答した人は27.7%である。

図2-4 「無職」の理由(15歳から64歳まで)



図2-5 「求職中」の人の割合(性別、年代別、15歳から64歳まで)

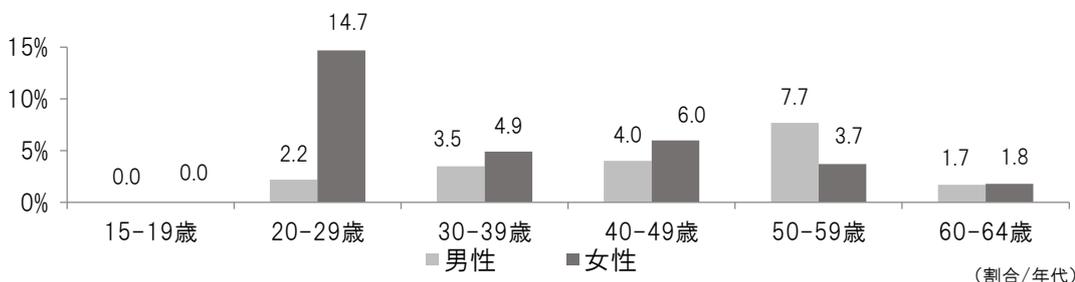
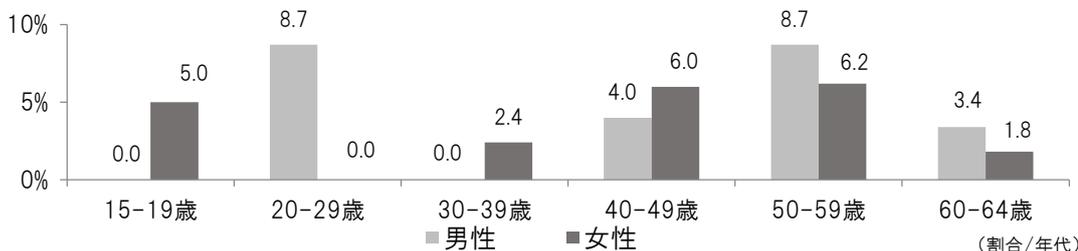


図2-6 「病気療養中」の人の割合(性別、年代別、15歳から64歳まで)



3 健診の受診状況

「最近1年間に健診を受けた」と回答した人は、71.5%である。(0歳から18歳は調査対象外)

図3-1

健診受診の状況(年度別)

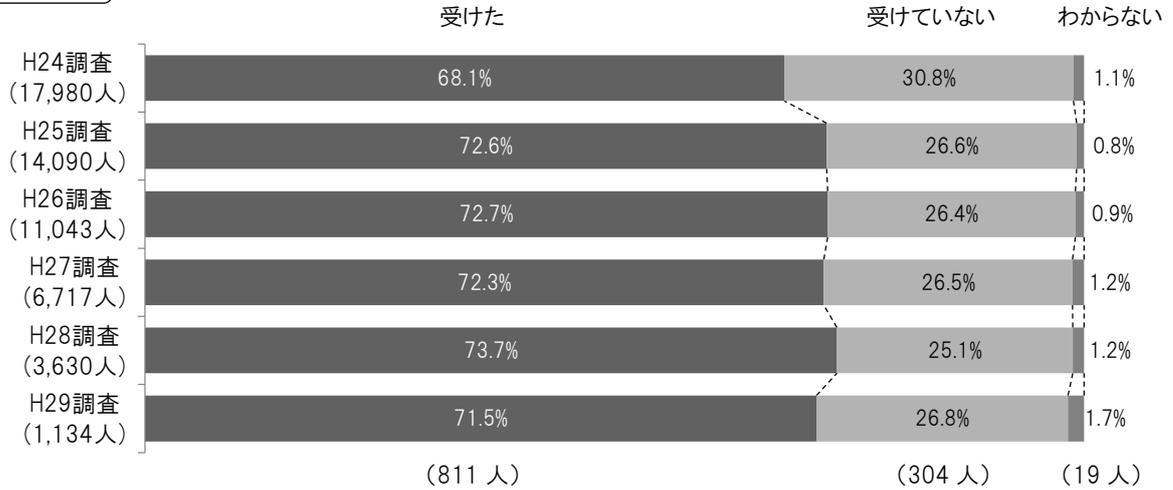
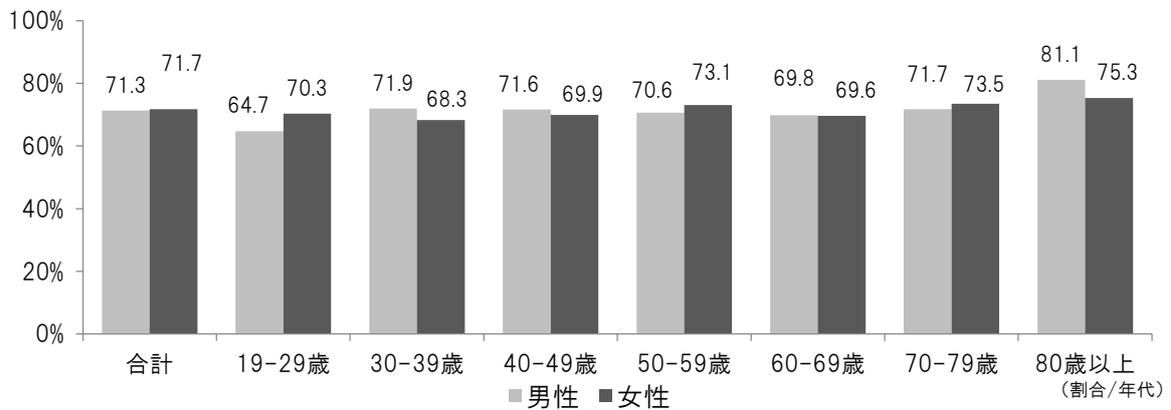


図3-2

「最近1年間に健診を受けた」人の割合(性別, 年代別)



4 疾病の状況

現在、「病気がある」と回答した人の割合は 53.4%である。

図4-1 現在の病気の有無(年度別)

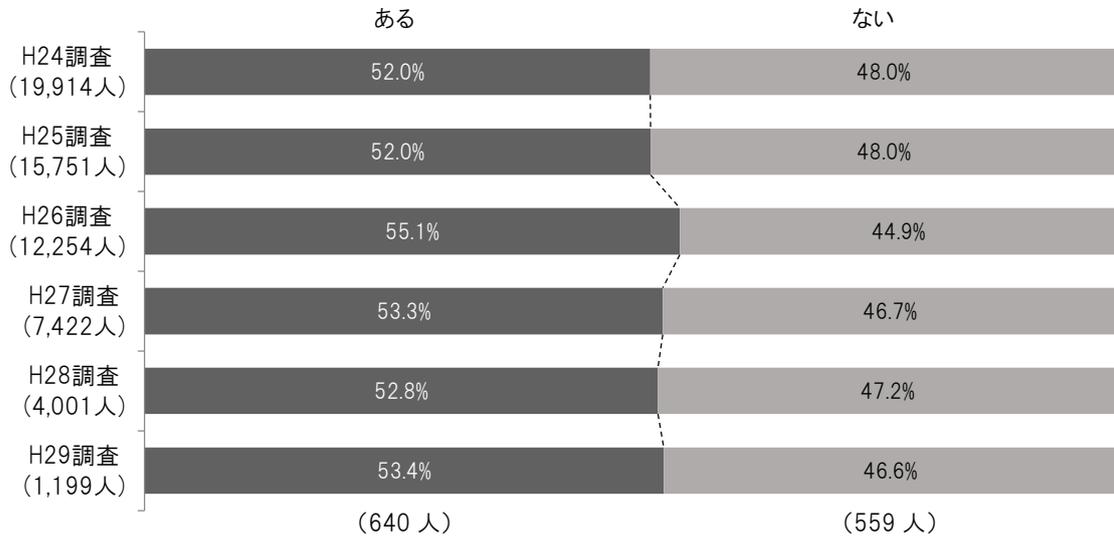
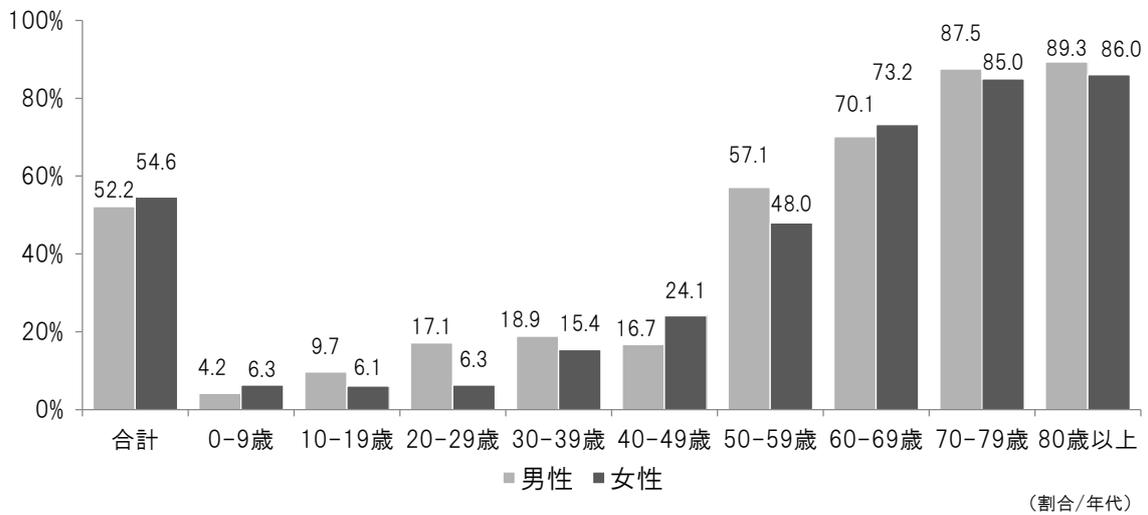


図4-2 「病気がある」人の割合(性別, 年代別)



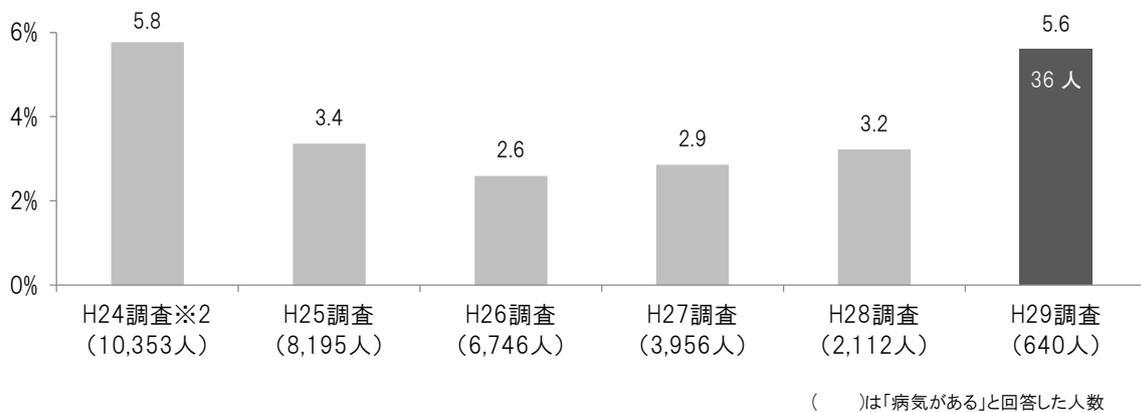
4 疾病の状況 (つづき)

病気別では、高血圧(31.7%)が最多で、次いで糖尿病(9.7%)となっている。また、「病気がある」が「治療を中断している」と回答した人は、病気がある人の5.6%である。

表4-1 病気の種類別(複数回答あり)

病名	H24調査 (21,450人)	H25査 (16,728人)	H26調査 (13,070人)	H27調査 (7,915人)	H28調査 (4,245人)	H29調査 (1,295人)	
	割合	割合	割合	割合	割合	人数	割合※1
高血圧	27.3%	28.3%	30.3%	29.2%	30.4%	411	(31.7%)
糖尿病	8.7%	8.8%	9.5%	9.0%	9.7%	126	(9.7%)
心疾患	4.5%	4.5%	4.9%	4.8%	4.9%	66	(5.1%)
呼吸器疾患	3.4%	3.3%	3.7%	4.0%	3.7%	61	(4.7%)
がん	2.8%	3.3%	3.8%	3.7%	3.4%	51	(3.9%)
精神疾患	3.1%	2.9%	3.2%	3.0%	3.2%	34	(2.6%)
脳血管疾患	2.2%	2.2%	2.2%	1.7%	1.8%	24	(1.9%)
透析	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.4%	8	(0.6%)
その他	16.5%	15.0%	14.7%	14.3%	13.5%	160	(12.4%)

図4-3 「病気がある」が「治療を中断している」人の割合(年度別)



※1 割合は、有効回答数に占める割合。

※2 平成24年度調査では、「現在は通院・治療していない」と回答した人の数。

5 体調

体調が「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は 20.5%である。高齢者ほど割合が高い。

図5-1 体調の状況(年度別)

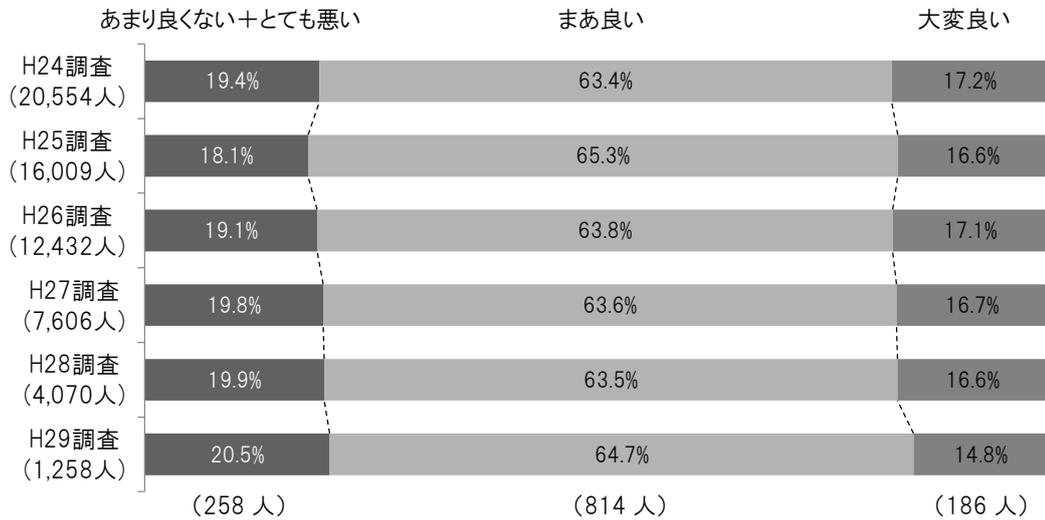
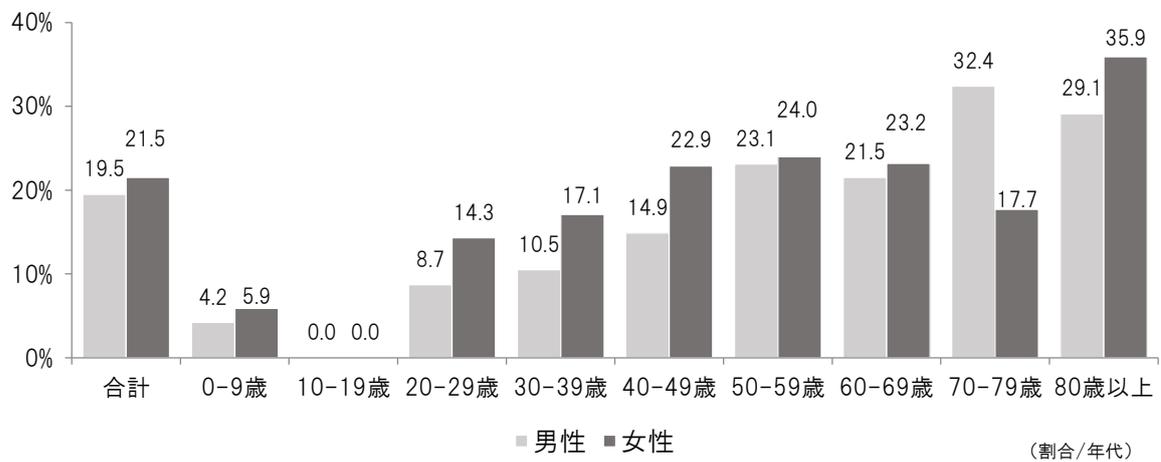


図5-2 「あまり良くない」「とても悪い」の合計の割合(性別, 年代別)



6 心の問題

不安、抑うつ症状を測定する指標であるK6(※)で見ると、「支援が必要な程度の強い心理的苦痛を感じている」とされる13点以上の割合は8.4%である。性別、年齢別では、80歳以上の女性が20.7%と高い。

図6-1 心の状況(K6, 対象:18歳以上, 年度別)

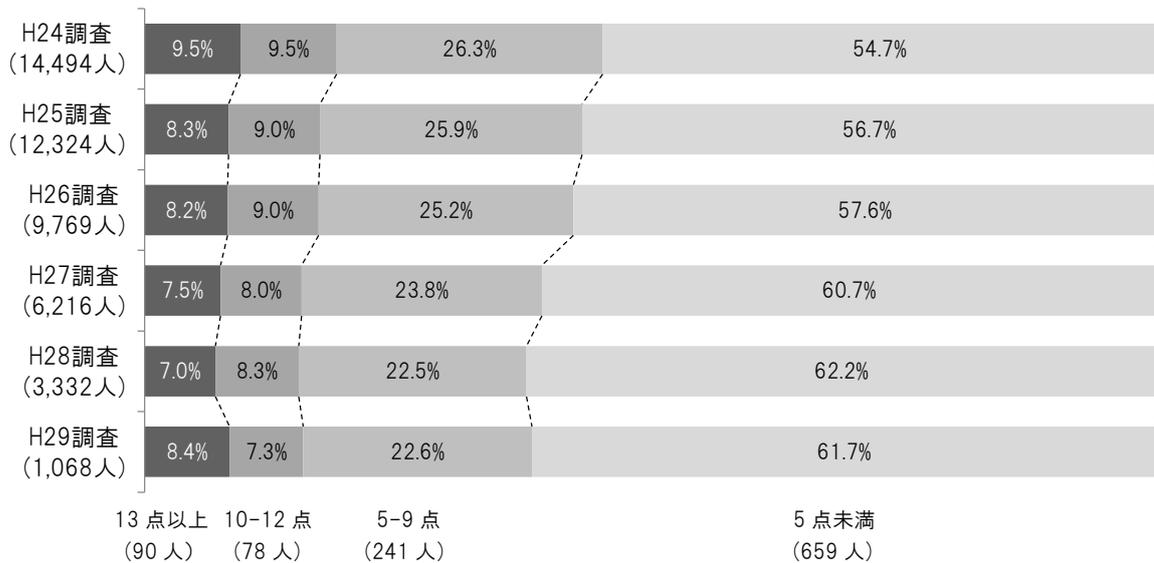
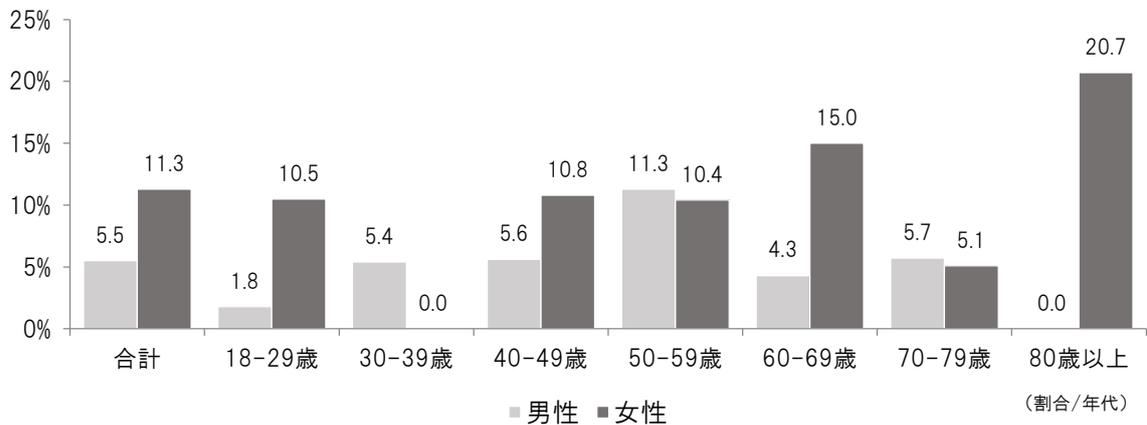


図6-2 K6「13点以上」であった人の割合(性別, 年代別)



(注)※ K6とは

K6は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そろそろ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をするのも骨折りと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階(「まったくない」(0点), 「少しだけ」(1点), 「ときどき」(2点), 「たいてい」(3点), 「いつも」(4点))で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

平成28年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査では、13点以上が4.3%であった(「不詳」を除き、20歳以上で集計)。

7 心の動揺

「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」と回答した人の割合は 14.1%である。全体的に女性が高い。

図7-1 「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の状況(年度別)

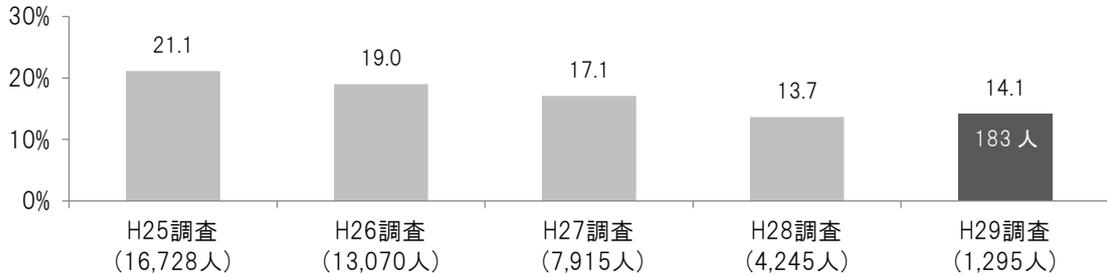
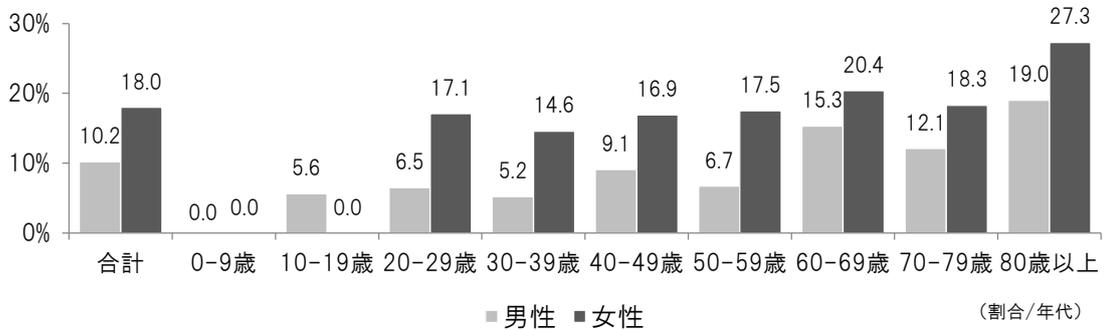


図7-2 「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の割合(性別, 年齢別)



8 不眠の状況

「眠れない」と回答した人の割合は 13.6%である。性別, 年齢別では, 80歳以上女性が高い。

図8-1 「眠れない」人の状況(年度別)

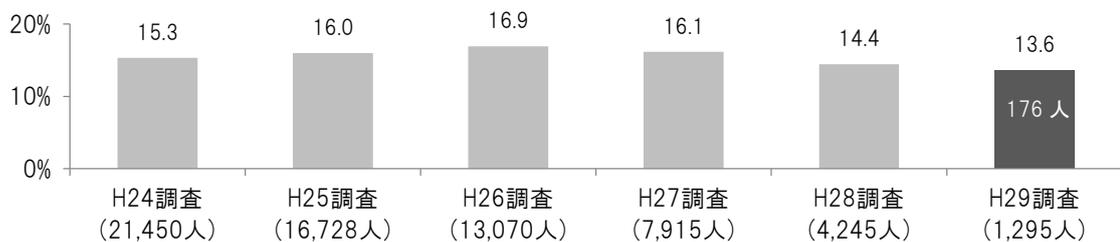
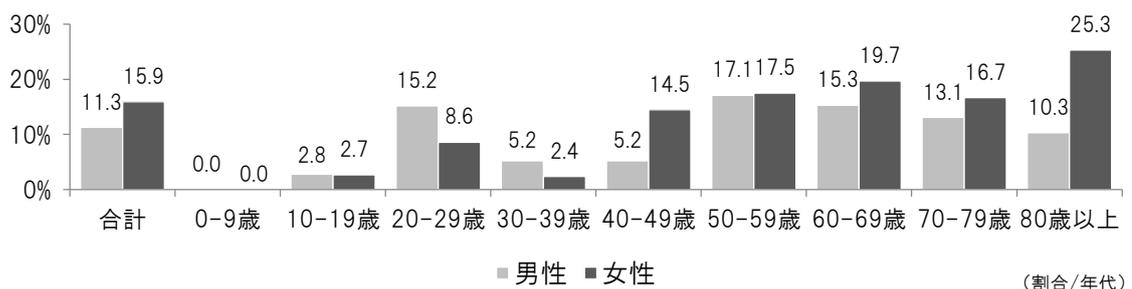


図8-2 「眠れない」人の割合(性別, 年代別)



9 飲酒の状況

(1) 朝又は昼からの飲酒状況

「朝又は昼から飲酒することがある」と回答した人の割合は 1.9%である。全体的に男性の割合が高く、50 歳代男性は 8.6%である。

図9-1 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(年度別)

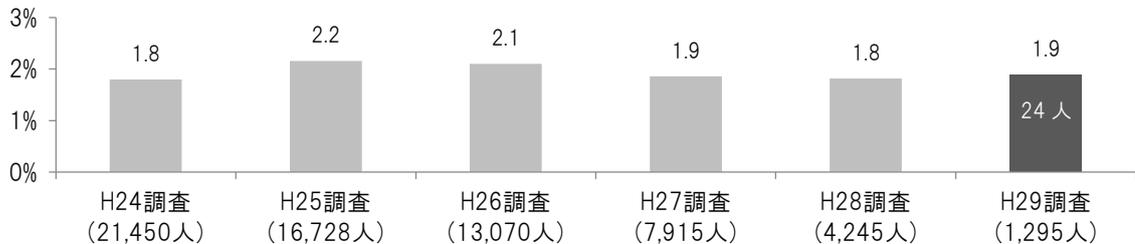
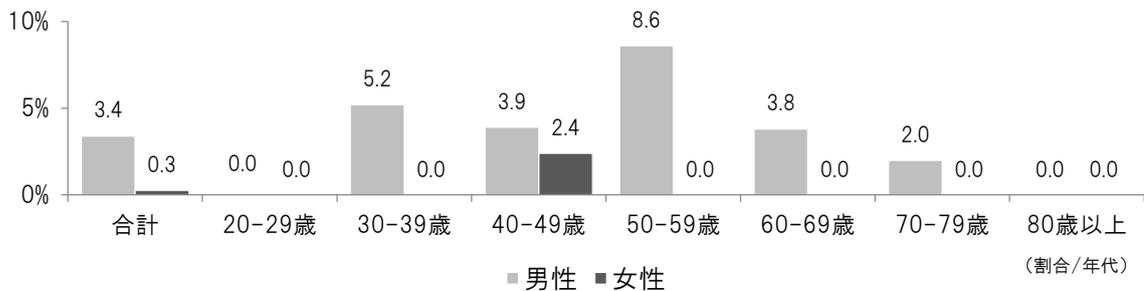


図9-2 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(性別, 年代別)



(2) 多量飲酒の状況

「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合は 6.9%である。40 歳代から 70 歳代男性で高い。

図9-3 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合(年度別)

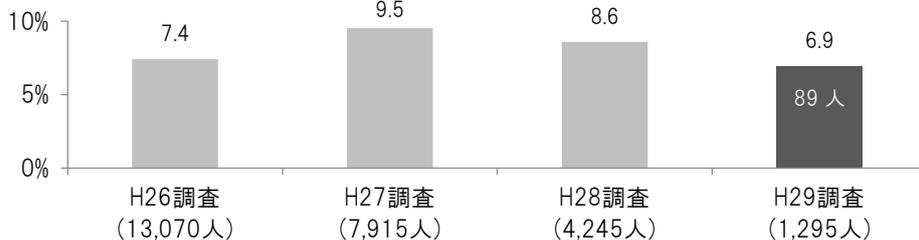
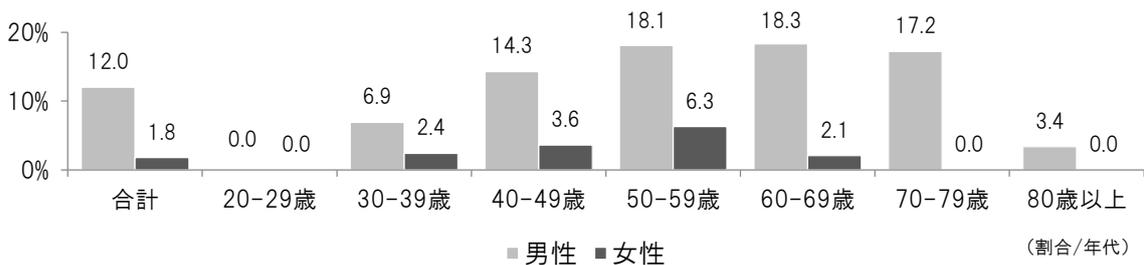


図9-4 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合(性別, 年代別)



10 食欲及び体重変化の状況

「食欲がない」と回答した人の割合は 3.0%である。
 「1年前に比べて体重が減少した」と回答した人の割合は 9.7%である。
 「1年前に比べて体重が増加した」と回答した人の割合は 13.4%である。

図10-1 食欲及び体重変化の状況の割合※

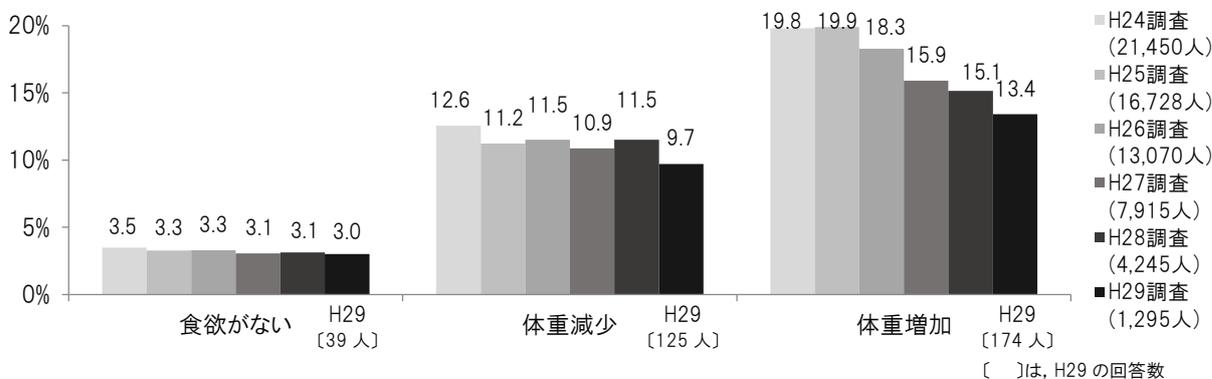


図10-2 「食欲がない」人の割合(性別, 年代別)

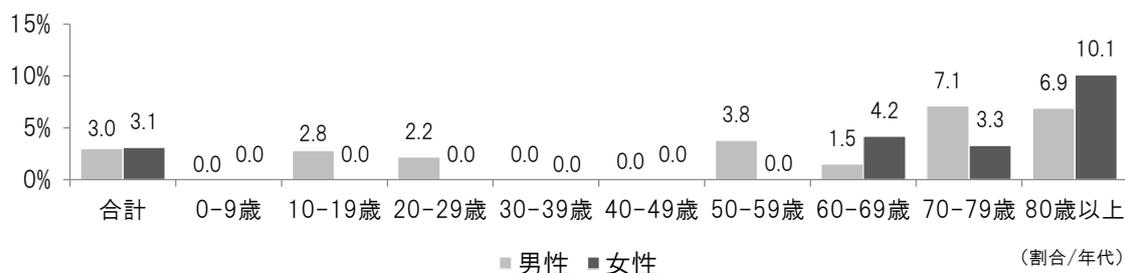


図10-3 「体重が減少した」人の割合(性別, 年代別)

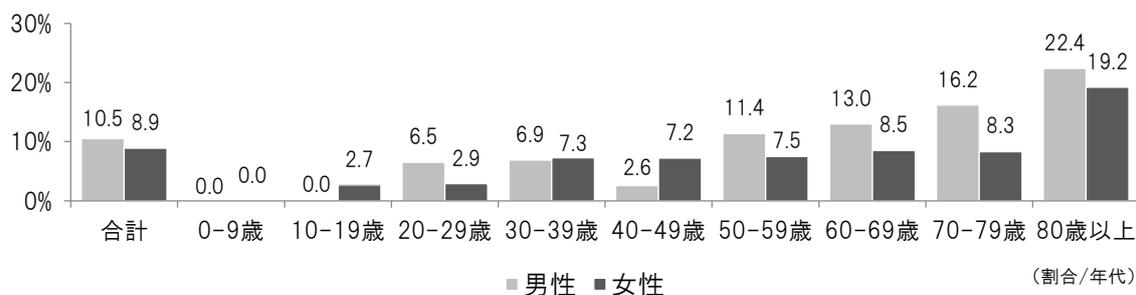
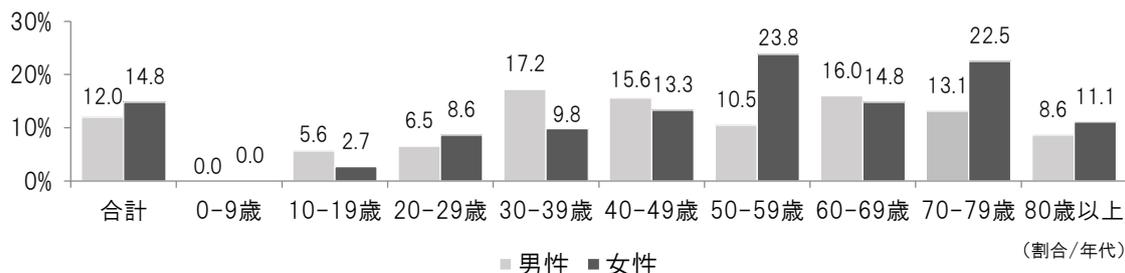


図10-4 「体重が増加した」人の割合(性別, 年代別)



※ 平成24年度は「震災前に比べて体重が減少又は増加した」割合。平成25年度以降は「1年前に比べて体重が減少又は増加した」割合。

1 1 相談相手の有無

「相談相手がいる」と回答した人の割合は 82.3%である。特に、男性で「相談相手がない」と回答した人の割合が高い。

図11-1 相談相手の有無

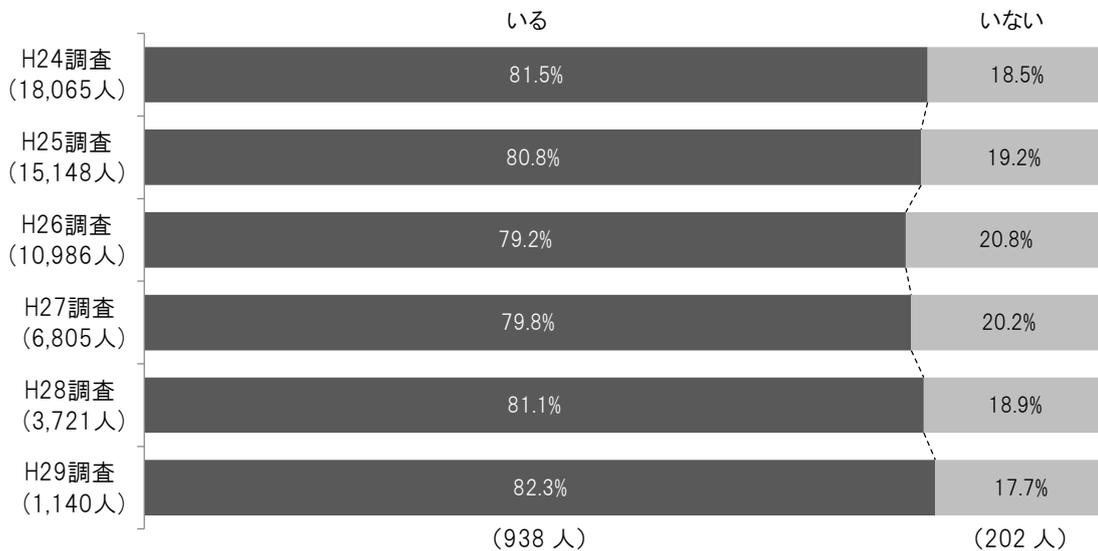
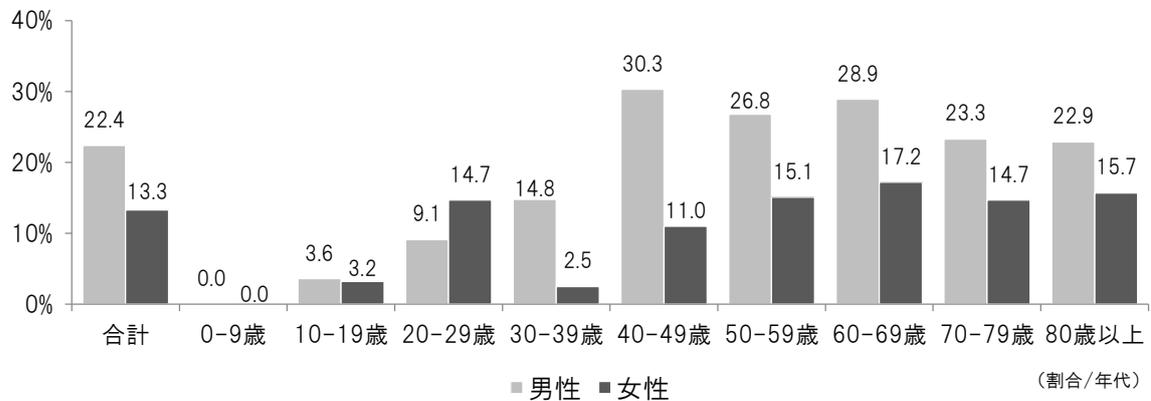


図11-2 「相談相手がない」人の割合(性別, 年代別)



1 2 体を動かす機会の変化

震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「とても少なくなった」と「少なくなった」と答えた人の割合は44.6%である。

図12-1 体を動かす機会の変化(年度別)

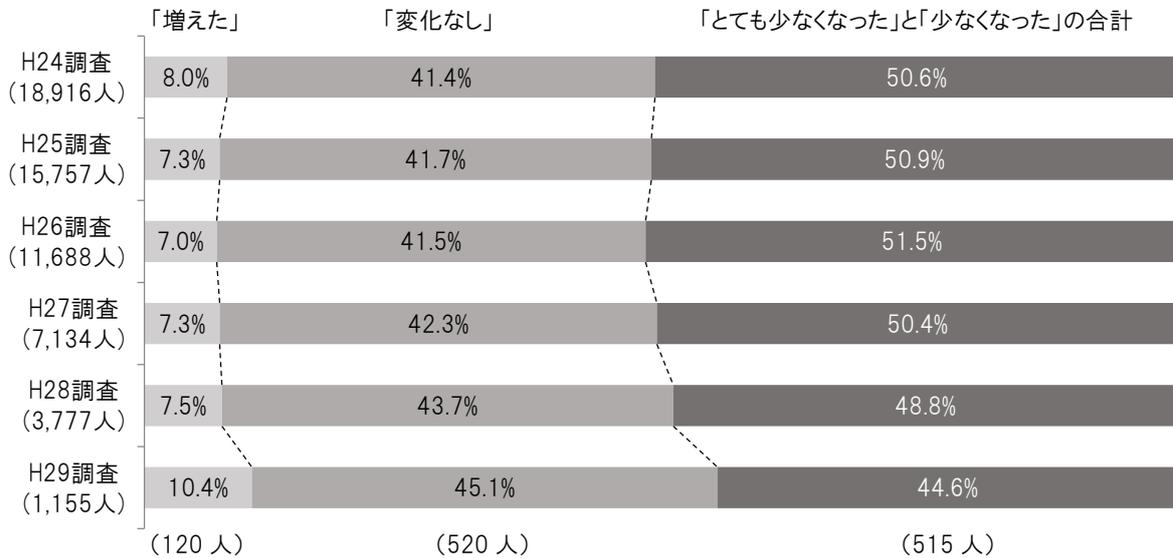
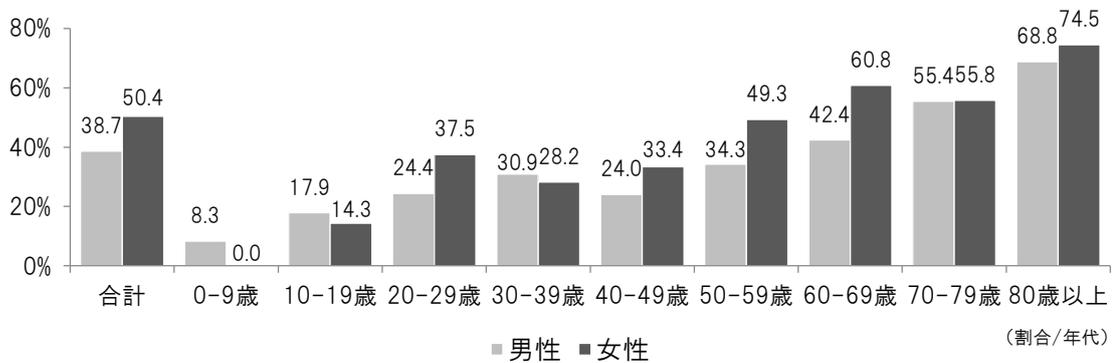


図12-2 「とても少なくなった」と「少なくなった」の合計の割合 (性別, 年代別)



1 3 行事への参加状況

地域との交流行事に「参加している」と回答した人は 34.8%である。男女別では女性で高くなっている。

図13-1 行事への参加(年度別)

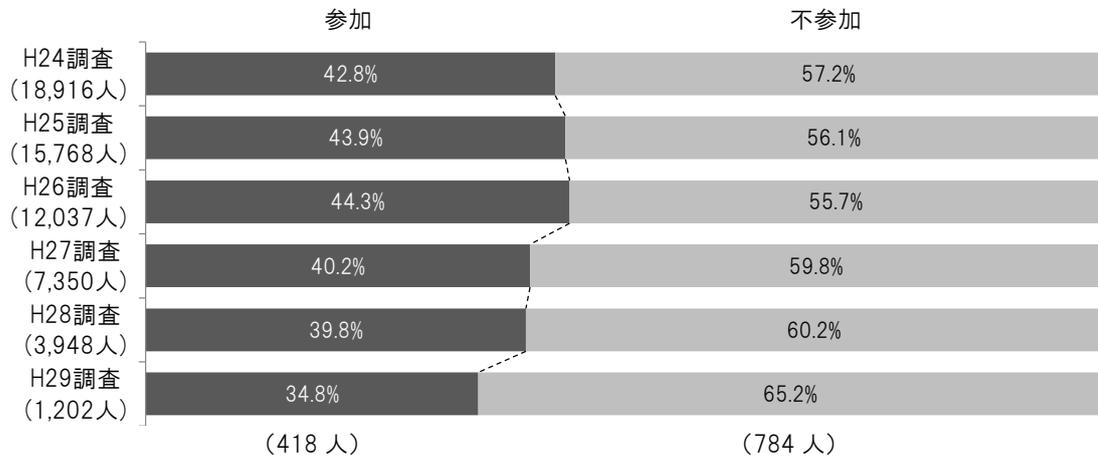
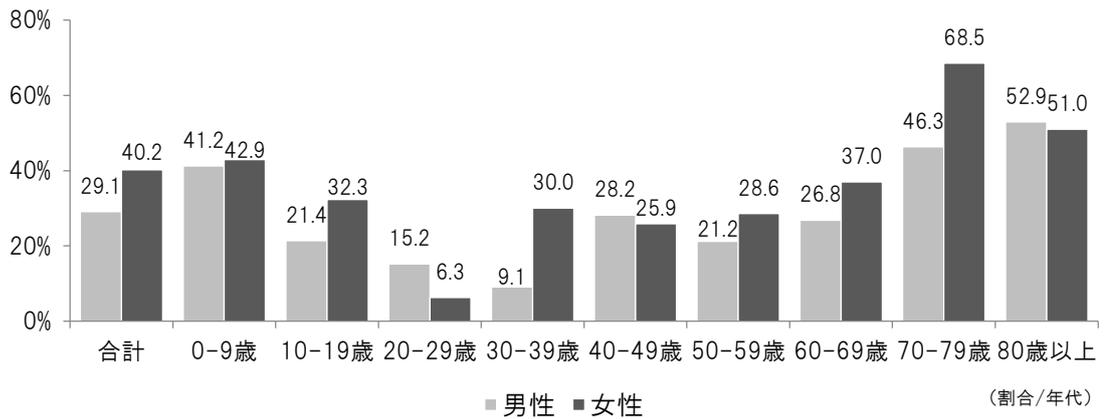


図13-2 参加している人の割合(性別, 年代別)



1 4 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は14.2%である。また、認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、73.3%である。

表14 要介護認定の状況

	H24調査		H25調査		H26調査		H27調査		H28調査		H29調査	
	認定者	サービス利用	認定者	サービス利用								
	割合※1 (7,343人)	割合※2	割合※1 (6,550人)	割合※2	割合※1 (5,723人)	割合※2	割合※1 (3,297人)	割合※2	割合※1 (1,782人)	割合※2	人数 (530人)	人数 (530人)
要支援1	3.8%	45.0%	4.4%	34.8%	4.4%	46.8%	4.2%	38.8%	3.5%	51.6%	17 (3.2%)	7 (41.2%)
要支援2	3.1%	54.2%	3.6%	49.8%	4.0%	54.4%	3.5%	64.1%	4.5%	74.1%	24 (4.5%)	21 (87.5%)
要介護1	2.9%	63.4%	2.3%	57.7%	2.0%	70.2%	2.1%	64.3%	2.1%	68.4%	9 (1.7%)	4 (44.4%)
要介護2	2.0%	74.7%	2.4%	66.9%	1.8%	68.3%	2.2%	74.6%	2.2%	61.5%	16 (3.0%)	15 (93.8%)
要介護3	1.6%	68.7%	1.1%	67.6%	1.5%	72.3%	1.4%	71.7%	1.1%	89.5%	6 (1.1%)	5 (83.3%)
要介護4	1.1%	75.0%	1.2%	67.1%	1.0%	71.9%	0.6%	71.4%	1.1%	78.9%	3 (0.6%)	3 (100.0%)
要介護5	0.8%	72.4%	0.7%	70.2%	0.6%	78.1%	0.6%	61.9%	0.7%	75.0%	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	15.4%	60.3%	15.7%	52.8%	15.2%	59.7%	14.7%	59.4%	15.2%	67.8%	75 (14.2%)	55 (73.3%)

※1 65歳以上の高齢者数に占める割合。

※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。

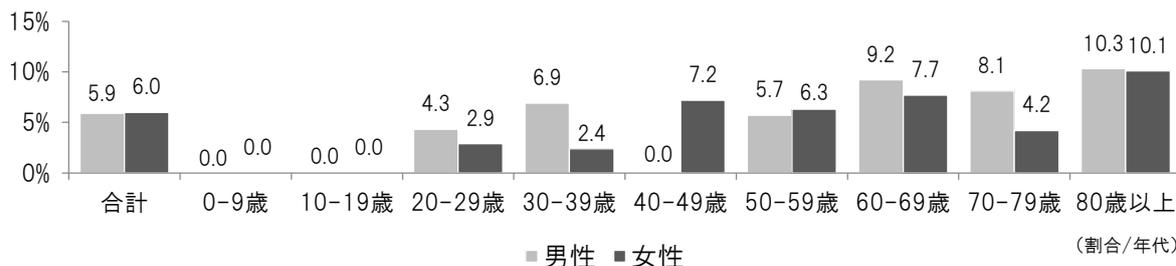
1 5 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人の割合は5.9%である。

表15 障害者手帳の状況

	H24調査	H25調査	H26調査	H27調査	H28調査	H29調査	
	割合 (18,065人)	割合 (15,148人)	割合 (10,986人)	割合 (6,805人)	割合 (3,721人)	人数※3	割合※4 (1,295人)
手帳あり	5.4%	6.0%	6.5%	6.0%	6.0%	77 (5.9%)	
身体	4.4%	4.8%	5.2%	4.4%	4.5%	61 (4.7%)	
療育	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.9%	11 (0.8%)	
精神	0.7%	0.8%	0.8%	1.0%	0.9%	13 (1.0%)	

図15 障害者手帳を持っている人の割合(性別、年代別)



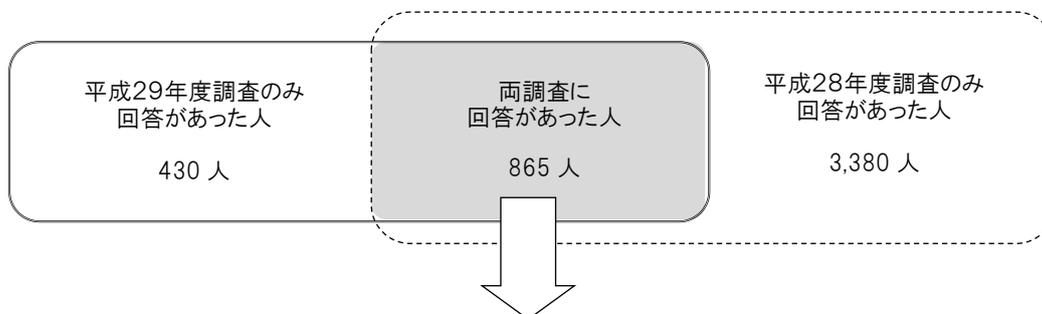
※3 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。

※4 有効回答数に占める割合。

16 前回に引き続き回答があった方の状況

今回調査の回答者 1,295 人のうち、平成 28 年度調査でも回答があったのは 865 人(66.8%)である(平成 28 年度調査回答者 4,245 人に占める割合は 20.4%)。

これら 865 人について両調査における回答を比較すると、下記全ての項目で平成 29 年度調査はポイントが低い。



(1) 回答者の性別・年齢構成

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	65歳以上(再掲)
男性	10	19	22	31	46	69	91	75	48	411	175
女性	9	24	18	25	54	62	104	94	64	454	218
合計	19	43	40	56	100	131	195	169	112	865	393
(割合)	(2.2%)	(5.0%)	(4.6%)	(6.5%)	(11.6%)	(15.1%)	(22.5%)	(19.5%)	(12.9%)	(100.0%)	(45.4%)

(2) 回答の状況

項目	選択肢	回答人数 (割合※1)		増減
		H29調査	H28調査	
体調	「とても悪い」+「あまり良くない」	20.9%	21.6%	▲ 0.7
疾病の状況	「病気がある」	53.2%	53.6%	▲ 0.4
心の問題	K6が13点以上	8.7%	8.8%	▲ 0.1
不眠の状況	「眠れない」	14.0%	14.1%	▲ 0.1
飲酒の状況	「朝又は昼から飲酒することがある」	1.7%	2.1%	▲ 0.4
食欲の状況	「食欲がない」	2.8%	3.1%	▲ 0.3
相談相手の有無	「いない」	15.6%	17.1%	▲ 1.5
体を動かす機会の変化	「とても少なくなった」+「少なくなった」	42.8%	48.4%	▲ 5.6

※1 平成29年度調査・平成28年度調査ともに、前回に引き続き回答があった865人に占める割合(心の問題※2を除く)。

※2 K6について有効な回答をした18歳以上の人に占める割合。

17 平成29年度応急仮設住宅(プレハブ)入居者健康調査結果(市町の主な項目)

仮設住宅 所在市町	配布 世帯数 【A】	回収 世帯数 【B】	回収率 【B/A】	有効回答 人数 【C】※1	高齢独居世帯 【D】 (D/B)	治療中断 【E】 (※2)	K6 13点以上 【F】 (※4)	朝又は昼から飲酒 することがある 【G】 (G/C)
石巻市	1,073	531	49.5%	960	118 (22.2%)	27 (5.4%)	67 (8.4%)	17 (1.8%)
名取市	260	94	36.2%	158	30 (31.9%)	7 (8.1%)	16 (11.6%)	4 (2.5%)
東松島市	67	6	9.0%	13	2 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)
南三陸町	129	65	50.4%	164	5 (7.7%)	2 (3.8%)	4 (3.2%)	3 (1.8%)
合 計	1,529	696	45.5%	1,295	155 (22.3%)	36 (5.6%)	90 (8.4%)	24 (1.9%)

参考

H24調査 (10市町)	15,979	9,366	58.6%	21,450	1,536 (16.4%)	※3 597 (5.8%)	1,374 (9.5%)	391 (1.8%)
H25調査 (9市町)	15,106	7,686	50.9%	16,728	1,443 (18.8%)	275 (3.4%)	1,026 (8.3%)	361 (2.2%)
H26調査 (8市町)	13,042	6,551	50.2%	13,070	1,463 (22.3%)	175 (2.6%)	803 (8.2%)	275 (2.1%)
H27調査 (7市町)	6,971	3,842	55.1%	7,915	873 (22.7%)	113 (2.9%)	468 (7.5%)	147 (1.9%)
H28調査 (5市町)	4,034	2,313	57.3%	4,245	502 (21.7%)	68 (3.2%)	233 (7.0%)	77 (1.8%)

※1 性別及び年齢について有効な回答をした人の数。

※2 「現在病気がある」と回答した人の数に占める割合。

※3 平成24年度調査では「現在は通院・治療していない」と回答した人の数

※4 K6について有効な回答(6項目中4項目以上の回答)をした18歳以上の人の数に占める割合。

Ⅲ (参考) 調査票様式

1枚目

ご家族が4人以上の場合には、
2枚目の調査票もご使用ください。

整理番号

* こちらには記入しないでください。

平成29年度 健康と生活に関する調査票

- * この調査は、宮城県と市町村が、東日本大震災で被災された皆様を対象に年に1回、定期的を実施しているものです。調査結果は、健康相談や生活再建に関する支援等を実施し、より充実した体制を整備するための資料とすることとしています。
- * ご回答いただいた内容は、目的以外に使用することはありません。
ただし、上記目的のため、調査結果を、いまお住まいの市町村や住民票のある市町村に提供させていただきますのでご了承ください。
- * また、内容について県や市町村の保健師等がご連絡(電話・訪問等)をさせていただきます場合もありますので、よろしく申し上げます。

記入年月日

平成29年 月 日

4人以上同居している場合には、
2枚目を使用してください。

1. 世帯の状況を下記に記載願います。

フリガナ				この住宅に住んでいる人数	人
世帯主氏名					
仮設住宅	市町名				
	団地名	部屋番号			
	電話番号	* 世帯の状況をよく分かっている方や日中に連絡がとれる方の番号を記載願います。			
	①	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
	②	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
	③	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
被災したときの住所		県	市・町・村		

住民票はどちらにありますか。県名、市町村名を下記に記入してください。

県・市町村名	県	市・町・村
--------	---	-------

ここ1年間で一緒にお住まいの方が変わりましたか。どちらかに○をつけてください。

同居している方の変化	変わった	・	変わっていない
------------	------	---	---------

転居の予定がある場合には、転居予定時期と転居先を教えてください。

転居予定時期と転居先	転居予定時期	平成	年	月頃
	転居先	:		

宮城県・市町名

1人目記入欄		2 世帯主・世帯主からみた続柄	3 職業	4 過去1年間に健診(学校、職場、市町村等で実施する健診)を受けましたか。	5 体調はいかがですか。
1 氏名(性別)・生年月日(年齢)		①世帯主 ②配偶者 ③子 ④子の配偶者 ⑤孫 ⑥父母 ⑦その他 ()	①会社員 ⑥漁業 ②公務員 ⑦主婦 ③自営業 ⑧学生 ④パート・アルバイト ⑨無職 ⑤農業 ⑩その他 () あてはまる項目に○をつけてください ①求職中 ②病気療養中 ③その他	①受けた ②受けていない ③分からない 19歳以上の方がお答えください。	①大変よい ②まあよい ③あまり良くない ④とても悪い
フリガナ					
氏名					
性別	①男性 ②女性				
生年月日	大正・昭和・平成____年 ____月____日				
年齢	満 歳 (11月1日現在)				
6 病気はありますか。 ①ある ②ない→7にお進みください。 「①ある」と回答した方は、病名に○をつけてください。 病名 → ○をつけた病気について治療の状況に○をつけてください。		7 こころの問題についてお聞きします。 過去30日間に、どれくらいの頻度で下記のことがありましたか。 全ての項目のあてはまる場所に○をつけてください。 ない場合は、「全くない」に○をつけてください。			18歳以上の方がお答えください。
①糖尿病 → 治療済・治療中・治療中断		項目 \ 頻度			
②高血圧 → 治療済・治療中・治療中断		全くない			
③がん → 治療済・治療中・治療中断		少しだけある			
④心疾患 → 治療済・治療中・治療中断		時々ある			
⑤脳血管疾患 → 治療済・治療中・治療中断		たいていある			
⑥呼吸器疾患 → 治療済・治療中・治療中断		いつもある			
⑦精神疾患 → 治療済・治療中・治療中断		神経過敏に感じる			
⑧透析 → 治療済・治療中・治療中断		絶望的だと感じる			
⑨その他 () → 治療済・治療中・治療中断		そわそわ、落ち着かなく感じる			
「治療中断」されている場合、その主な理由は何ですか。 ①主治医の指示 ②自己判断 ③その他 ()		気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れない感じがする			
		何をするのも骨折りだと感じる			
		自分とは価値のない人間だと思う			
8 現在の状況について、①～⑤に当てはまるものがある場合には、番号に○をつけてください。 体重の増減があった場合にはその量についても記載してください。		10 震災前に比べて、日頃の生活で体を動かす機会はどうになりました。		11 自治会や集会所で開催される行事への参加等、地域との交流の場へ参加していますか。	
①眠れない		①とても少なくなった		①参加している	
②何かのきっかけで、災害を思い出して 気持ちが動揺することがある		②少なくなった		②参加していない	
③食欲がない		③変化なし (もともと少なかった)		③参加していない	
④1年前に比べて、体重が減少した (kg減) *健康のために意識的に減らした場合は除く		④変化なし (よく動いている)		12 悩みなどを相談できる相手がいますか。	
⑤1年前に比べて、体重が増加した (kg増) *成長期による体重の増加は除く		⑤増えた		①いる	
				②いない	
				①いいえ	
				②要支援1	
				③要支援2	
				④要介護1	
				⑤要介護2	
				⑥要介護3	
				⑦要介護4	
				⑧要介護5	
				*サービス利用の有無	
				①有り	
				②無し	
				*サービス利用の有無	
				①有り	
				②無し	

調査への御協力ありがとうございました。再度、記入漏れがないかご確認ください。
ご家族がおられる方はご家族へお渡しいただき、次のページへの記入をお願いします。